

世紀の天文ショーに歓声

近郊エリアで最大で太陽の80%が欠ける部分日食となった22日、この地域でもさまざまなイベントがあった。あいにく、ふ厚い雲が立ち込めたが、薄日の

間には刻々欠けていく太陽も観測され、参加者は世紀の天文ショーに歓声を上げた。
(都築修、小野沢健太、野末幹雄)

各地で日食イベント

トンネルで観望会

春日井の
廃線跡 鏡で幕に反射光映す

○…春日井市玉野町、員会による「日食観望の旧国鉄中央線廃線跡トンネルでは、愛岐トンネル群保存再生委」が開かれ、約三百人が参加。長さ七十五



トンネル内の白い幕に映し込まれる日食を見つめる参加者―春日井市玉野町で(福本精一さん提供)

した。参加者は幕に映った直径約七十センチの太陽の姿に大喜びだった。

トンネル外には、長さ四尺の孟宗竹の節を抜いて作った投影機など十機を置いた。ピンホールカメラの原理を応用し、欠け、満ちる太陽を白い紙に映した。

同市高森台小三年細川若葉ちゃん(九)は「太陽が、欠ける月の

よつに見えてすごかった」。同市玉野町、梶田勝司さん(六)は「地域の財産となりつつある。ぜひ活用して欲しい」と話した。

8倍の抽選通った30人が観望会しむ
小牧の中部公民館

○…小牧市小牧の中部公民館四階でも市施設活用協会、市教委などが観望会を開催。倍率八倍の抽選を通った

三十人が参加した。桃陵中、篠岡中科学部員や同市の天文ボランティアらの支援を受け、バルコニーから専用メガネで日食を観望。室内ではインターネットで中継された皆既日食の映像も流された。

雲の上で目を凝らす

空
自
小牧基地 輸送機に親子ら搭乗

○…雲の上からの観望会を開いたのは、航空自衛隊小牧基地。C130輸送機を使い、

小学生とその親ら十九人が搭乗した。午前十時五十分に基づ地を飛び立った輸送機は、北陸上空を回るルートで約一時間飛行し目を凝らした。